

イベント等におけるリユース食器の利用について

1. リユース食器とは

リユース食器とは、使い捨てではなく、何度も繰り返し洗って再利用(リユース)できる食器のことで、昨今問題となっている、使い捨てプラスチック削減を目的として、お祭りやスポーツ観戦、音楽フェスといったイベントで使用され、全国で普及が進んでいる。

リユース食器については、昨年度市で作成した「弘前版エコイベントの手引き」でも利用を推奨しているほか、本年3月には、県から「リユース食器利用マニュアル」が発行されたところであり、県内でも普及に向けた動きが見られるようになってきている。

2. リユース食器の活用事例

京都・祇園祭(主催:一般社団法人祇園祭ごみゼロ大作戦)

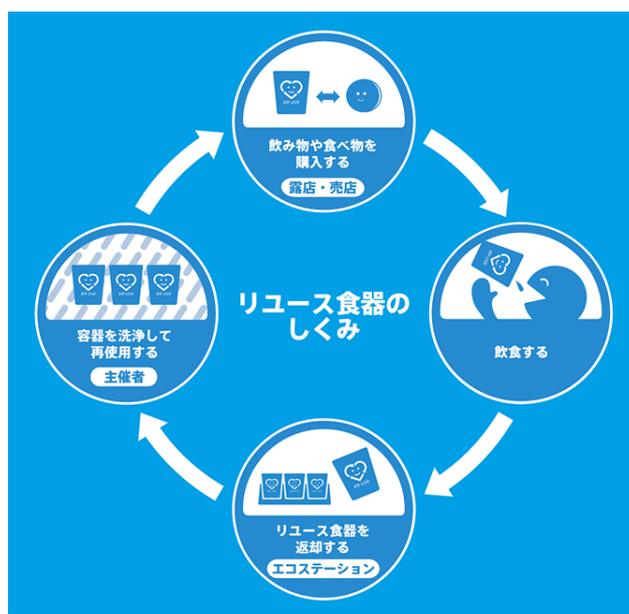
約 21 万食分の使い捨て食器をリユース食器に切り替え

(エコステーション設置数32カ所、ボランティア約二千名従事)

大阪・天神祭(主催:天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会)

約2万食分の使い捨て食器をリユース食器に切り替え

(エコステーション設置数34カ所、ボランティア約千名従事)



出典：天神祭ごみゼロ大作戦 HP

3. リユース食器の特徴

メリット:ごみ減量、環境負荷低減、来場者の環境意識向上、イベントのイメージアップ
デメリット:回収の手間、洗浄の手間、紛失のおそれ

4. 市内イベントでのモデル事業について

今年度市内で開催されるイベントに出店する飲食店の食器類について、リユース食器を導入するモデル事業を実施する予定(青森県のプラスチックごみ対策強化事業の予算を活用)。※

リユース食器の調達は、NPO 法人からレンタルする(洗浄せず返却する方式を採用)。

リユース食器の回収は、イベント会場内にエコステーションを設置し、ごみの分別回収と合わせて行う。

※県では、県内2カ所のイベントを想定して予算計上しており、その一つとして市で手上げ。今後、市内イベント主催者及び県と協議しながら実施する予定であるが、コロナ禍の影響により、各イベントが中止されている状況にあるため、現時点では未定。



エコステーションの設置例(弘前さくらまつり)